

令和2年度 学力向上指導改善プラン

三田市立ゆりのき台中学校長 大野 正人

学校教育目標		自立して自分の将来の夢や目標に挑戦しつづける生徒の育成 ～「命」と「心」を大切に、ひとの優しさ、温かきを実感できる学校～	
推進主体		研究推進委員会	
学力に関する前年度の状況・経年の課題等			
学力の状況	全国学力・学習状況調査結果の状況 (国語、算数・数学に関する質問紙調査の結果も含む)	国語 ○全体をとおして優良な結果である。 ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域、特に記述をする「封筒の書き方を理解して書く」については、日常から封筒の正しい書き方を理解して活用されていることがうかがえる。 ●「読むこと」の領域、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること」に課題がみられました。今後は、文章の構成を理解し、要点をまとめながら情報を整理する活動を取り入れていく。	算数 ○全体をとおして優良な結果である。 ○「数と計算」の領域では、正答率も高く、基本的な計算能力が身につけている。 ●「正の数と負の数」という範囲に課題があり、「正の数」と「正の数」との区別がつかずに解答している生徒が多く見られました。今後は、数の集合を図式化し、具体的な数学を示すことで、数の概念の認識を高めていく必要があります。そこで、数直線やトラップなどを活用し、正負の数の大きさを理解できるように努めていく。
	定期テスト、単元テストなどによる状況(各教科)	●学校評価アンケートに、定期考査の難易度が高すぎるという回答が見られた。	
	授業等からうかがえる状況(各教科)	○総じて落ち着いた授業態度である。 ●「主体的・対話的で深い学び」の深化を図るための更なる研究が必要である。	
	償学・力生向上に習い慣係等るの学習状況	全国学力・学習状況調査の質問紙の状況 ○計画的に勉強に取り組みしており、学校以外で学習時間を確保できている。 ○外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知りたそうとする生徒の割合が高くなっている。 ●住んでいる地域の行事への参加に課題があります。今後は、トライやるウィークをはじめとした学校行事や生徒会活動を通じ、地域に住んでいる方々との交流の機会をつくっていく。	学校評価などのアンケート調査による児童・生徒の状況 ○「学校生活は充実しているか」(学校評価アンケート)に対する肯定的評価が、生徒、保護者ともに90%以上である。 ●「学習指導」(学校評価アンケート)についての肯定的評価が、生徒は9割超となっているが保護者は8割程度にとどまっている。
研究修内研究の状況	校内研究の状況 ○「主体的に学び合い、対話を通して深め合える授業づくり」をテーマに研究を推進できた。 ●「キャリア教育」「防災教育」「特色ある学校づくり」が喫緊の課題である。 ●通常の研修に加え、夏休み期間を中心にグループ等で自主研修を推進する。	校内研修の状況	
家庭・連携・携校種間	家庭・地域等の状況 ●家庭・地域との連携のもと、放課後や夏休みを利用して学力補充を進める必要がある。	小・中における教科連携等の状況 ●教科毎の連携から、系統性を意識したカリキュラム連携への発展を目指す。	
		4月	2～3月
学力向上に向けての重点的な目標		成果となる目標 (指標となる数値等)	具体的な行動目標 (成果目標達成のための具体的な手立て等)
		○社会的自立に向けたキャリア教育の推進	○「キャリア教育」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート(生徒、保護者) ⇒90% ○「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒の割合：全国学力・学習状況調査 ⇒70%
		○グローバル化に対応した教育の推進	○「変化の激しい時代を生き抜く力」に対する肯定的回答の割合 ⇒80% ○タブレットなどICT機器を活用した授業を行った教員の割合 ⇒90% ⇒%
		○主体的に学ぶ子どもの育成	○「学習指導」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート(生徒、保護者) ⇒95% ○「読書が好き」と答える生徒の割合：全国学力・学習状況調査 ⇒75%
		○育ちと学びをつなぐ教育の推進	○「開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート(生徒、保護者) ⇒90% ○ゆりのき台中学校区学校園「連絡会」「研修会」の開催回数 ⇒計5回
		○教職員の資質向上	○「学習指導」に対する肯定的回答の割合：学校評価アンケート(生徒、保護者) ⇒90% ○授業公開をした教員の割合 ⇒100%
			・キャリア教育推進体制を整備する。 ・キャリアノート、キャリア教育指導資料等を活用する。 ・「わくわくオーケストラ(1年)」「トライやる・ウィーク(2年)」の充実を図る。 ・就学前から11年を見通した教育を推進するため、小中学校連携を図る。 ・ICT機器の活用を研修の中心とするとともに、情報教育の充実を図る。 ・伝統や文化に関する教育を推進する。 ・研究推進委員会を中心に、全国学力・学習状況調査等を活用し、学力向上に努める。 ・朝読書、がんばりタイム等により一人一人の確かな学力の育成を図る。 ・「さんだっ子読書通帳」の活用により、読書活動の推進を図る。 ・「学びの連続性」を意識したゆりのき台中学校区での連携を推進する。 ・学校園所連携推進に係る「ゆりのき台中学校区連絡会」や「研修会」を開催する。 ・「社会的自立に向けたキャリア教育」をテーマに、三田市教育委員会奨励研究に取り組む。 ・学期に一度、教員対象の授業公開期間を設ける。 ・講師を招聘し、授業研究会を実施する。
			年度末評価 (今年度の成果と来年度に向けた課題等)
			評価